



未来を創造する

# 上永谷中学校だより

2023.9.19発行

横浜市立上永谷中学校

校長 澤柳 寛



永野連合町内会・上永谷町内会夏祭りに出演した吹奏楽部



## 祭礼・夏祭り・盆踊り大会に寄せて

副校長 大庭 一修

各町内会や自治会で実施された、いわゆる「まつり」は、もともと宗教的な意味合いの強いものでした。かつて厳しい環境の中で生活してきた私たちの先人にとっては、今よりももっと、自分が生きている喜びや、同じ場所で同じように苦楽を共にしながら暮らす周囲の人たちに感謝する気持ちが強かったに違いありません。偶然とはいえ、今の状況にめぐり合わせてくれた“神”や“先祖”や“自然”を崇拝する気持ちを少しずつ形にしていっていったものが「まつり」といわれています。やがて「まつり」は、年代を経ていくごとに、どちらかというところ集まった人々たちを楽しませる「催し物」へと大きく転換がなされてきました。

7月末から8月上旬にかけて、学区内で開催されていた祭礼にお邪魔させていただきました。楽しそうに過ごす皆さんの姿を見て元気ももらいました。ボランティアとしてテキパキと働いている人もたくさんいましたね。それぞれの町内会や自治会によって様々な特色がありましたが、どのおまつりも同じ地域に住んでいる人々たちのために、もっと楽しく過ごしてほしいという熱い思いであふれていました。夏休みが終わった今、あらためて「まつり」を企画し、運営して下さった、多くの大人たちの心遣いを振り返ってみましょう。



## 防災訓練について

このところ、メディアで「関東大震災から100年」という文字を見る機会が増えました。この時期毎年のように報道されていることではありますが、関東一帯での大地震が、いつ起っても不思議でない状況下にあります。

中学校では、9月1日(金・防災の日)の午後の時間を使って、総合防災訓練を行いました。市内最大震度7の設定で、教室での活動の際に被災し、グラウンドへの一時避難、校舎の安全確認後に教室への二次避難」という形で展開しました。生徒はとても落ち着いた雰囲気です。適切に行動することができていました。震度7になると、私たちは通常に立っていることができなくなります。低姿勢をとりながら机の脚を押さえ、しっかりと頭部を守りましょう。

当日の校長先生の「まとめ」でお話があったように、中学生としてはまず、「自助」(自分の安全を自分で守ることが求められること)が求められます。さらにゆとりがあれば、自分の周りの人たちと助け合う「共助」にも積極的に関わってほしいと願っています。

さて、4月に提出いただいた、「家庭環境調査票」の記載事項について、夏休み以降に変更があった場合は、速やかに学校にお知らせください。また、この日に配付した「緊急時引き取りカード」の提出につきましても、該当の方はご協力をお願いします。

また9月3日(日)、上永谷中学校地域防災拠点運営委員会では、中学校に避難場所が開設されたという仮定で、様々な事情を抱えた避難者たちの対応をしていく訓練、「HUG」(避難所運営ゲーム)を行いました。限られた空間で避難生活を行うために、全員で様々なアイデアを出しながら人物を割り当てていきますが、とても難しい内容でした。

さて、食料等の救援物資は、避難場所として利用しない人の分も、避難拠点場所である学校にどんどん送られてきます。在宅のまま避難生活を行う人も、避難拠点場所に家族の登録をしに行くことはとても大切です。



## 本年度も「横浜市立学校総合文化祭」が始まっています



総合文化祭は、横浜市立学校(小学校・中学校・義務教育学校・高等学校、特別支援学校)に在籍する児童・生徒の皆さんの学習の成果や文化的活動を発表し、広く市民の皆様にも鑑賞していただける場として設定されています。市内各所で開催されていますので、よろしければお出かけください。詳細は横浜市のHPをご覧ください。

7/26~31に戸塚区民センターで開催された「美術部展」に出品した本校美術部の作品↓



横浜市立学校総合文化祭ホームページ

